

愛知スキー協通信 No.294

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会 2019年 8月1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801 (Fax 共)

e-mail : aichiskikyokai@yahoo.co.jp

<http://aichiskykyou.yukigesho.com/>

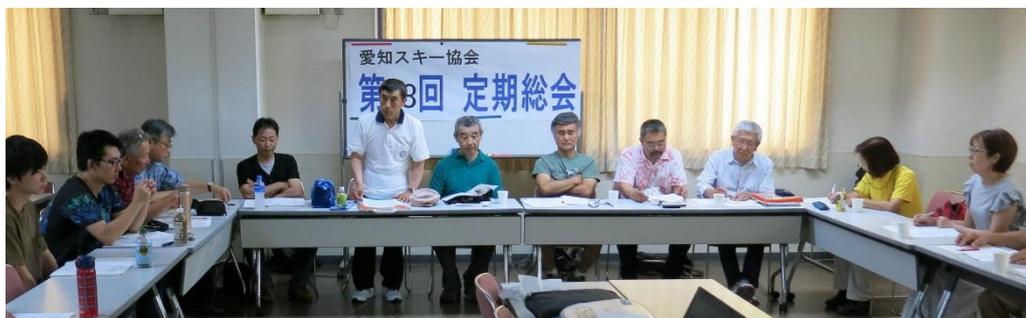


編集：ぶなの木 SC

48期 愛知スキー協 あらたに進もう

2019年7月7日(日)午後1時から労働会館において第48回愛知スキー協会総会が開かれました。

議長にぶなの木の経塚さんと直滑降の土屋さん、資格審査委員に直滑降の三宅さんとイエティの水谷さん、選挙管理委員にイエティの澤田さんとぶなの木の大城さんを選出しました。



来賓として出席した新日本スポーツ連盟愛知県連盟理事長の大塚さんから「理事長になって10年近く、メンバーが固定していて古い人も頑張っているが、若い人も頑張ってもらいたい。また育ちつつある。」と挨拶がありました。また全国スキー協理事長の小川さんと兵庫スキー協からメッセージをいただきました。

愛知スキー協理事長の寺田さんから「報告等まとめて簡素にし、分散会の時間充実したい」と挨拶がありました。

次に資格審査委員会から代議員定数29名中出席は24名で過半数を超えているので総会は成立していると報告があり、確認しました。

議事

寺田理事長からの提案

- ・全国代表者会議に2名参加。永田、寺田
- ・はじめに 情勢：現在選挙中、私たちの今後の生活に大きく関わっている。
スキー協会は専門性の追求と、経験の蓄積をどう活かすか。
- ・活動のまとめ(浅井報告)クラブを中心に行事を豊かに取り組む。他県との交流等も充実。
- ・方針案 ・平日スキー、行事の魅力鮮明に打ち出す、日常生活の中にトレーニングを
クラブは30名目指す、スキーメイト活用する、技術的には見せるスキーを目指す、人を惹きつける教室を。

会計報告が東さんから、会計監査報告が島田さんからありました。

各部の報告：山スキー部、スノーボード部、競技部、技術部(指導員現在27名、シーズンはじ

めのレポート、各自の目標を持とう等)

各クラブの今年初めての活動を中心にした報告

- ・深雪（児玉）シーズンオフの月1回の行事で野球観戦
- ・ぶなの木（経塚）クラブ員入れ替わりあり、膝等の故障、高齢化の理由でやめる人、仲間が欲しいと入会する人など。ガイド付きツアー参加者はネットでつながっている。
- ・はだし（会長・寺田）総会を11月から6月に早めた。この先1年は続けたい
- ・イエティ（澤田）ウイングヒルズサマーを続けている
- ・直滑降（加藤）毎週のバトミントンは高校生や他のクラブのメンバーで賑わっている。スキーなどの行事にも誘いたい
- ・サザンクロス（首藤）クラブ員を増やしたい。

分散会：「KJ法」：説明首藤、一人5分で10個の提案。付箋に書き出す。

テーマ「10倍クラブ活動を楽しむ方法」

分散会報告

- （首藤）11名参加。どういう行事を、どうやって知らせるか。SNSなど、マニアック・専門性・特殊性・安い・道具。以外な楽しみは、食事・温泉、オフスポーツ、仲間との顔合わせること。情報のやりとり綿密に、
- （寺田）15名参加。安・近・短よし、時には海外・パウダー・ボード。同世代の悩みや要求を話せる仲間。楽しさとは何か。

全体的まとめ：寺田

ホームページの活用すること。クラブの情報発信、ワードで首藤さんへ送ろう。
メール担当、クラブで決めよう。

報告・方針案・・・拍手で採択されました。

役員選挙を実施し下記の方々が全員信任されました。

理事15名：寺田康男 永田政広 澤田安利 東雅夫 浅井千恵 三宅幸一 加藤真理子

大森和彦 水谷啓子 大城敏雄 堀木幹夫 首藤秀一 寺田康平 島田二郎 安藤洋子

会計監査1名：米村幹雄

第一回理事会を開催し、役員に理事長：寺田、副理事長三名（東、澤田、永田）会計：東、事務局長：浅井、事務局次長：安藤・加藤を選出し、第2回理事会を7月30日（火）19時半よりとしました。

7月7日日曜日 総会 分散会議論の報告

文責 愛知スキー協理事長・技術部長兼任 寺田 康男
(みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクトメンバー)



総会の中心は今後スキー協がどういう方向に進むべきかを、1.5時間掛けて

探り合う分散会でした。「クラブを10倍たのしくする為に」を一人10枚
の案をふせんに記入してもらい分散会で分類してからそれぞれに、議論しました。



左：付箋を分野別に張ったところ

右：付箋を分類している。



「10倍たのしくする為に」議論された内容の趣旨と傾向を分析し紹介します

以下は、2つの分散会データをもとに寺田が独自の判断で《4段階の》要求に分類してまとめたものです。分散会の途中で気づいたのが③と④を分ける事です。中身と材料は似ているが要求の深さがぜんぜん違うし、2面性分析の必要を感じたので項目を変えて表現しました。今後の方向性を探る、議論の叩き台になればと思います。

①「今あるこの楽しさを SNS 等の新しい宣伝媒体を駆使して伝えてほしい。

また、早く、確実に知りたい」・・・そしたら10倍たのしくなる

寺田は分析します

= (スキー協の日程確認手段に不慣れな人、及び、

ほしい情報が伝わってこないことに不満が、あるから出てきた要求)と判断します。

②「スキーを続けるための健康な体づくりを習慣付ける」・・・そしたら10倍たのしくなる

寺田は分析します

= (生涯スポーツ、スキーを生活の一部に位置付けて生きているタイプ) と思います。

③「難しいことを実現出来たら」・・・そしたら10倍たのしくなる

困難をもたのしむと寺田は分析します

= (自分から積極的に動く、付加しに行く、行動的、幾つか経験済みタイプ) と考えます。

ア) スキー+温泉+質の良い食事+何かしらを探し、組み合わせの変革をする。

イ) 海外に行くために企画、働きがけをする。(飛行機を使ってまでスキーに)

ウ) (気分が上がる) あたらしい道具を入手する。(気分が上がる) スキー技術を考える。

エ) 新鮮さ、専門分野、技術を追求する。(スキーを前提に、やったことの無い物への挑戦)

・パウダー・深雪・ボード・コブ・ジャンプ・オフピステ・新種目

・幼児のスキー教室・誰もがさんかできる競技大会・指導の内容を工夫する

オ) 会員を増やし、良い人間関係の量てきに拡大する。

・異年代、異意見が混合する善さ

カ) 危険性を察知し、対処することも、楽しむ。

・冒険心を保ちつつ、危険にたいする対策を練る

・危険にたいする抵抗力を養う、体力作りをする



④「らくして、楽しさや時間、限られた労力やお金を無駄にしない環境ができれば」

・・・そしたら10倍たのしくなる

ごく一般的なスキー愛好者集団の数多い声と寺田は分析します。

= (どちらかと言うと他人主導でつくってある良いものを探し出し利用できる、

器用に生きていける視野の広い上から目線タイプの人) の要求と思えます。

ア) 良いスキー場、近いスキー場、安いリフト券の入手できるスキー場を選択する。

イ) 多くのスキーに行く機会にであう。(安くて安全な交通手段での海外も)

ウ) (気分の揚がる) 充実した教室、マテリアル、指導員、上手くなる手段を選ぶ。

・ファッション性、ロゴマーク、ウェアやプロテクター、ブランド名

- エ) シニア、ジュニア、レディースの集まる場の情報収集、情報交換をする。
 - ・専門分野に深入りする ・スキー以外も楽しみの視野に ・スキーが上手になりたい
- オ) 質のより好い人間関係を求める。(充実重視、今のまま又は今の方向性で)
 - ・要求の一致点からして、同年代がキーポイント
- カ) 安全の確保をする。
 - ・危険を、しない選択肢の比重が大
 - ・危険を排除してもらう。スキー協から依頼要請をする

上記は、どれも「スキーのたのしさ」をつくる要素です。意見を更に上乘せ、整理しながら、理事会で掘り下げて引き続き議論してゆきます。一年をかけて、スキー協の歩む道筋を理事会で分析していきたいと思えます。クラブでも議論して、その様子を理事に託して理事会に上げてきてください！各個人の意見があれば直接寺田康男にメール送信ください！

携帯アドレス tera-.ski@docomo.ne.jp
 パソコンアド yasuhiromi@mta.biglobe.ne.jp

アルペン競技用語解説⑭ 《大会の仕方3》 審判の仕事

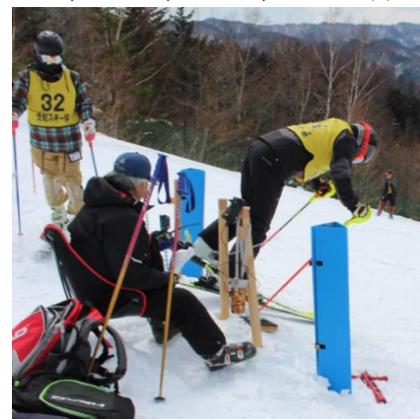
スタート審判 スタートに関してのすべての事を見ます。選手がきちんとスタートしたか、ジャンプスタートはほとんどの大会で禁止です。逆に次の選手が後ろにいて勢いをつけようと下がったときにスキー板に当たって上手くスタートできなかった、また、アゴヒモがきちんとできているか等安全・用具面も見ています。また、**スタート係**がスタートを管理できているか、計時、スタート間隔等管理できているかを見ます。私たちの大会はスタート係と兼ねています。

点呼係 は選手が滞りなくスタートできるようにします。10分ぐらい前に点呼します。2本目リバー（例えば30リバーだと1本目の30位・29位・28位・・・1位・31位・32位・・・の順にスタートします）ではゼッケン順のスタートではなくなるので選手がスムーズにスタートできるように点呼します。

フィニッシュ審判 は文字通りゴールでの出来事がきちんとなされているかを管理します。

ゴール係、計時係 (手動計時係、大きな大会では必ず予備に行うことになっています。電気計時はダブルです) **掲示等**ができていているかを見ます。

主審 は**スタート審判**・**ゴール審判**等を含めレースそのものを審判します。雪質・天候が競技するに値するか等すべてを含めて管理します。



ぶなの木スキークラブ総会

日時 6月29日(土)
 場所 あいち健康の森
 午前中は安全対策としてビーコン(雪崩に埋まって時に捜す道具。電波を発信しているので、その発信元を捜す)の使い方の練習をしました。今回は陸上での練習です。みんなが手に持っているのがビーコン、何度やっても難しいです。
 浅井